

# 麻酔科専門医研修プログラム (静岡医療センター)

## 1 はじめに

このプログラムは、静岡県東部地域(富士川以東)にある複数の麻酔研修認定病院が、各病院の特色を活かす中で、日本麻酔科学会の専門医取得を目指す若手医師に提供するものです。

単独施設では症例や麻酔関連業務の偏りがありますが、日本麻酔科学会が示す教育ガイドラインに沿って研修計画を組み、臨床能力の高い麻酔科医の養成のためのプログラムになっています。静岡東部地域に居住しながら、すべての症例を幅広く経験できます。このプログラムの指導医たちは、麻酔専門医を志す皆さんに、私たちが今までに得た知識、考え方、技術のエッセンスを、ピットフォールも含めて、できる限りわかりやすく伝えたいと考えています。また、連携施設と勤務を調整し、静岡県医学修学研修資金制度の利用者や大学院進学希望者のご要望に個別に対応いたします。

当地は気候が温暖で、海の幸、山の幸に恵まれ、近隣に富士山や伊豆の温泉地などもあり、また東京・横浜へのアクセスも便利で、すぐれた生活環境にあります。このプログラムに一人でも多くの方が参加していただき、当地域全体の麻酔科医増加と医療レベル高度化に寄与されることを期待しつつ、麻酔科医として専門知識や技術をしっかり学びながら、地の利を活かして自分の時間を有意義に過ごす「ライフ&ワーク・バランス」の実現を目指しています。



プログラム統括責任者 静岡医療センター 統括診療部長 小澤 章子

## 2 目的

麻酔科専門医の取得に必要な麻酔トレーニング(知識・技術の習得)を、各病院の特徴を生かして研修します。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター

### (2) 専門研修連携施設

- (必須) 静岡がんセンター  
順天堂大学医学部附属静岡病院
- (選択) 伊東市民病院  
沼津市立病院  
静岡県立総合病院  
静岡県立こども病院  
浜松医科大学医学部附属病院

聖マリアンナ医科大学病院  
 北里大学病院  
 東京医科大学病院  
 慶応義塾大学病院  
 杏林大学病院  
 国立国際医療研究センター  
 国立病院機構東京医療センター 他

#### 4 専攻医受入数

3名

#### 5 研修期間

4年間

#### 6 研修計画（例）

表記はあくまでも参考例です。

静岡県医学修学研修資金制度の利用者、大学院進学希望者を含め、個別に対応します。

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡医療センター または 静岡がんセンター または 順天堂大学静岡病院											

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡医療センター または 静岡がんセンター または 順天堂大学静岡病院											

3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡医療センター または 静岡がんセンター または 順天堂大学静岡病院											

4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択（責任基幹、必須、選択すべてから選択） または 静岡医療センター											

#### 7 問い合わせ先

静岡医療センター 管理課職員係長

静岡医療センター 統括診療部長（麻酔科部長・集中治療部長併任）小澤 章子

当院は450床で、急性期部門は循環器、がん、救急、総合的診療を4つの柱とし、慢性期部門は神経疾患と重度心身障害者の診療を担っています。麻酔科管理件数は例年1500件前後で、各科の一般的な手術が行われています（小児科、産婦人科を除く）。麻酔科医室は隣り合った手術室と集中治療室の両方に接しており、どちらにも容易にアクセスできます。術後および集中治療管理の実施は、手術中の麻酔管理の質を格段に向上させます。経験値としてある程度の症例数は必要ですが、当院では数だけでなく1症例、1症例を振り返り積み重ねることが質の良い経験になると考えています。ICLS、BLS、ACLS、JPTECをはじめ、困難気道確保（DAM）セミナー、中心静脈穿刺セミナーなどを自院で開催して受講しやすい環境が整っています。近年は、麻酔科専門医、専攻

医が増え、手術室看護師と共に和気あいあいと手術麻酔と周術期管理を行っています。当院では麻酔科学を基本に全身管理を担える医師の養成を目指しています。私たちと一緒に勉強していきませんか。

静岡県立静岡がんセンター 名誉院長兼麻酔科部長 玉井 直

当院はがん専門病院であり、手術症例の大部分は成人のがん患者で、がん手術に限れば国内 3 位の手術件数です。毎年手術件数は増え続けておりましたが、2020～2023 年度は COVID-19 感染症蔓延の影響を受け、総手術件数、全身麻酔は若干の減少～横ばい状態で年間全身麻酔件数は 3700 件程度です。ダヴィンチ支援手術を含めた体腔鏡下手術が増加し、また周術期の抗凝固・抗血小板療法が積極的に行われるようになり、硬膜外麻酔併用症例の割合は年々減少しており、全体の 4 割程度です。肺がん、食道がんなど胸部外科手術は毎週 10 件程度、脳神経外科の開頭術は週 1～2 件ありますが、6 歳未満の症例はほとんどありません。近年 75 歳以上の高齢患者が増加していますが、低侵襲手術も増えて、また熟練した外科医が執刀・指導しているため、手術合併症は少ないのが特徴です。これらの麻酔症例を集中的に経験し、標準的な麻酔管理を確実に習得することを目標としています。なお、当院の緊急手術は入院中または外来通院中の患者が対象であり、原則として専攻医の夜間、休日の呼び出しはありません。

順天堂大学医学部附属静岡病院 麻酔科・ペインクリニック教授 尾前 毅

当院は、静岡県東部ドクターヘリ運用病院であり、3 次救急指定病院です。そのため、麻酔科管理手術症例 4550 例の約 20% が緊急手術であり、多彩な救急患者に対応しています。また、大学病院として高度な手術もおこなわれており、高い技術の麻酔管理を求められます。特徴的な症例は、ドクターヘリで搬送される心臓血管緊急手術や交通事故などによる多発外傷の脳神経外科、整形外科、外科や泌尿器科の緊急手術、母体搬送症例、危機的大量出血の原因となる産科緊急症例を経験できる施設であります。

※キャリア形成プログラムについては、構築に向け調整中です。